

第19回 丸山地区及び和田地区学校再編検討委員会合同会議 会議録

日 時 平成26年8月7日(木)
午後7時から午後9時10分まで
場 所 丸山公民館 2階 大会議室
出席委員 丸山地区18人 和田地区18人
欠席委員 丸山地区 3人 和田地区 3人
傍 聴 人 1人

1 開会

皆様、こんばんは。夜分、大変お疲れのところお集まりをいただきましてありがとうございます。本日、房日新聞社から撮影の依頼がございました。前回どおり許可をしてよろしいでしょうか。

(異議等なし)

(房日新聞社による撮影)

続きまして、この度、一身上の都合ということで和田地区の学識経験委員の山本充委員から御退任の申出がございました。新たに和田町和田、岡田しげ子様学識委員を委嘱いたしましたので報告をさせていただきます。

(岡田委員挨拶)

それでは、ただ今から丸山地区及び和田地区学校再編検討委員会第19回合同会議を開会いたします。

2 委員長挨拶

皆さんこんばんは。日中は本当にとってもたまらないというほどの厳しい暑さでございますが、この時間となりますと、どなたも一息つきたいなというお時間かと思えます。このような時間でございますが、私ども検討委員といたしましては、やはり大変重要な事項を協議していただく会議でございます。お疲れのところ大変申し訳ありませんが、皆様方の前向きな、そしてこれまでの会議で話し合われたこと、あるいは重要な事項であったこと、そういったことを思い出されて、確認されてそして建設的な御意見をいただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

3 教育長挨拶

どうも、こんばんは。御多用の中、御都合をつけてお集まりいただき大変ありがとうございます。毎日、暑い日が続いていますが、お疲れの趣もあると思えますが、本日も御協議のほどよろしく願いいたします。

4 報告等

第18回の学校再編検討委員会合同会議を平成26年7月17日に行い、この時の出席委員は、丸山地区20名と和田地区18名となっています。

議題の第1号「南小と丸小の段階的な統合の検討について」検討をしていただきました。事務局から資料1の「学校等再編に係る検討・協議事項」により、学校等を再編するに当たり条例・規

則等の改正が必要となる基本的合意事項について説明をさせていただきました。基本的合意事項は、「学校の再編時期に関する事項」、「学校の位置に関する事項」、「学校の名称に関する事項」の3つとなっております。続いて、資料2の「丸山地区小学校施設比較表」により、統合することとなった場合に使用する小学校等を検討していただきました。段階的な統合については、丸山地区のみが行うこととなっておりますので、南小学校と丸小学校のどちらかを使用することとなります。そこで、それぞれの小学校の施設等を比較検討し、事務局から南小学校を使用する旨の提案をさせていただきました。その主な理由ですが、南小学校の方が丸小学校よりも教室やグラウンドなどが大きいため、全体的にゆとりがあること。児童数やスクールバス通学者数、また丸小学校が抱えている問題を解決するために、現時点では特に問題のない南小学校が統合を検討していることなどを考慮した結果となっております。ここで、海拔15m未満の南小学校を使用することについて御質問がありました。事務局からは、海拔15m以上という基準は、新たな公共施設等を建設する場合の基準であり、今回の場合は南小学校か丸小学校のいずれかの小学校を使用することになることや、南小学校は海拔が約12mであり、15mに満たない位置にありますが、直ぐに高台へ避難することができ、長時間避難を要する場合は、嶺南中学校に移動することも可能な位置であること。また、現行においても避難訓練等により万全を期して取り組んでおりますので、保護者の方々を含め、多くの方に理解していただけると考えている旨の説明をさせていただきました。統合の時期については、できるだけ早い時期が良いという考え方がある中で、H27年4月というのはスケジュール的に厳しいのではないかという御意見がありました。事務局からは、閉校記念式典や閉校記念誌などは必ずしも3月末までという考え方ではない旨の説明をしております。そのほかには、学校統合を検討するに当たり地域の方々の意見を吸い上げてもらえるような場や方法はあるのかというような御意見がありました。事務局からは、この再編検討委員会で一定の方向を出していただき、地区説明会等で御理解をいただけるよう努めていく旨のお話をしております。そのほかには4校統合の話とダブって進めることになるのかという御質問がありましたが、事務局からは4校統合についての具体的な進め方については、新校舎建設が一定程度進んでからそれぞれの専門部会を立上げることとなるため、段階的な統合とは同時進行しない旨の説明をしております。そのほかにも、統合することになった場合、先生方の負担が非常に大きいという御意見や、男女のバランスが極端に悪い問題については、南小学校との交流方法をいろいろ考えて解決できないのかという趣旨の御意見、また統合するに当たりいろいろな事を細かく相談して決めて行く方が、子供たちへの負担が少なくなるのではないかと御意見もございました。会議ではいろいろな御意見をいただきましたが、結論には至らず引き続き検討することとなっております。

報告は以上となりますが、委員の皆様には前回の会議録を事前に送付させていただきましたので、本日の会議にて御承認をいただき、市のホームページに会議録を掲載したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

続きまして、配付資料の確認をさせていただきます。

(事前配付資料及び当日配付資料の確認)

報告が終わりました。会議録につきまして、御承認された後に市のホームページで公表になり

ますが、会議録につきまして御承認をいただけますでしょうか。よろしゅうございますか。

(異議等なし)

それでは、ホームページで公表させていただきます。ありがとうございました。

続きまして、次第5の議事に移ります。学校再編検討委員会設置要綱第7条第1項の規定によりまして、委員長に議長をお願いいたしますが、慣例によりまして、今回は丸山地区の委員長に合同会議の議長をお願いいたします。なお、本日の会議に傍聴の申出がございましたので報告をいたします。

委員長 設置要綱第7条第4項の規定により、会議は公開とすることになっておりますので、傍聴を許可いたします。

(傍聴者入場)

本日の出席委員数は丸山地区18名、和田地区18名、両地区ともそれぞれ過半数に達しておりますので会議は成立いたします。

それでは、議事に入ります。「(1)南小と丸小の段階的な統合の検討について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

事務局 議事の(1)「南小と丸小の段階的な統合の検討について」説明をさせていただきます。段階的な統合につきましては、現在丸小学校4年生が抱えている男子10人、女の子が1人もいないという状況であること、また来年度幼稚園に入園する学年も男子6人、女の子が1人しかいないという状況であり、男子だけになる可能性もあることなどから、丸山地区では段階的な統合をする方向で協議されてきました。そこで、これまでの検討・協議内容を踏まえ、基本的合意事項について提案をさせていただきますと思います。資料2の「丸山地区の幼稚園及び小学校再編に係る基本的合意事項」の案を御覧ください。(1)から(3)の3つの事項につきましては、前回の会議でも説明させていただきましたが、学校等を再編するに当たり条例や規則等の改正が必要となる事項となります。まず(1)の学校の再編時期に関する事項については、「再編時期は、平成27年4月1日とする。」としてあります。平成27年4月とした理由ですが、統合する場合の時期については、これまで協議した中で「できるだけ早い時期が良い。」という意見や、「平成27年4月では統合までの期間が短過ぎる。」との意見もあり、平成27年4月とするのか、又は平成28年4月以降とするのか、意見の集約には至らず引き続き検討することとなっております。しかしながら、事務局としましては、現在の4年生が抱えている問題に加え、幼小PTAが行ったアンケート調査でも「少しでも早く統合した方が良い。」という意見があることや、来年度入園する学年も現在の4年生と同じ様な問題を抱えていることなどから、1年でも早く統合して極めて不自然な状態を解消し、より良い教育環境に改善しなければならないと考え、平成27年4月1日といたしました。次に(2)の学校の位置に関する事項については、「幼稚園舎は、南幼稚園舎を使用する。」「小学校舎は、南小学校舎を使用する。」としてあります。南小学校舎を使用することにつきましては、前回の会議でも説明をさせていただきましたので、省略させていただきます。次の(3)の学校の名称

に関する事項については、「幼稚園名は、南幼稚園とする。」「小学校名は、南小学校とする。」としてあります。両地区統合に係る幼保一体施設や小学校校舎が完成するまでには、5年以上かかる見込みとなりますので、それまでの間は、南幼稚園・南小学校のままとし、4校統合のタイミングに合わせて新しい校名・校章・校歌などを作っていくことで考えております。以上で説明を終わりますが、これらの基本的合意事項を決定していただき、地区説明会において地域の方々を含め、関係者の御理解と御協力をいただきたいと思いますと考えております。説明は以上となりますので、御協議をよろしくお願いいたします。

委員長 　ただ今、事務局からの議事「(1) 南小と丸小の段階的な統合の検討について」、平成27年4月に統合することの提案がございました。そこで、委員の方々からの御発言をお願いいたします。この件について、皆様方の御意見がありましたらどうぞ。

委員 　丸山地区で区長をしています。前回、保護者の意見はアンケート等に出ているけども、地域の方々の意見を知りたいという意見がありましたので、私どもはある意味地域代表でございますので、各周辺の区長に声を掛けて、話を聞いてもらったし、個人的な話も聞いたということで報告をさせていただきます。まず自分の区ですけれども、先日、地区の草刈り作業に参加した18名の区民に対して、状況説明を行った後、「賛成」、「反対」、「どちらでも良い」という、いわゆる丸小学校方式の回答で聞いたところ、「賛成」が17名、「反対」が0人、「どちらでも良い」が1人でした。「どちらでも良い」ということについては、子供もいないし、どっちでもいいというような話でした。それから、丸小学校のお膝元の地区の区長からも私の所に報告がございまして、「段階的な統合については仕方がない」という役員会での大勢の意見だということでございました。一部、「学校がなくなるのは寂しい」という意見はもちろん出たそうですし、また「低い方へ行くのはどうか」という意見も出たそうです。しかしながら、「丸小の親がそういうふうに言っているのであれば、4校統合は決まっていることであるので仕方がない」というのが大勢だったということでございました。また、別の区では、直接子供に関係している役員が少なかったということもあって、「親がいいと言っていれば、いいのではないか」という意見が大勢を占めていました。それから、ほかの区では、これは区長の意見ですが、「4校が決まったんだから、その前かがたがたすることはないんじゃないか」というのが1人の意見。それから、もう一人は、特に意見はないけれども、「PTAが良ければそれでいいと思う。」こういうような意見でした。大勢としては、段階的統合に特に強い反対を感じることはありませんでした。ただ、今、事務局の話にあった、時期であるとかですね、あるいは校名だとかそういうことについては言及しておりませんので、その辺については、この会議でまた話し合いができるのかなというふうに思います。

委員長 　ありがとうございました。ほかの方どうぞ。

委員 　南幼小のPTAです。この段階的統合につきまして、うちの方の検討委員で話し合いをしまして、この統合の学校の位置、あと学校の名称については、ここに記載のと

おりといたしますか、その方がいいかなというような意見があつて少し話がまとまっております。あと、再編の時期につきましては、これは平成27年4月1日、早急な対応が望ましいというようなこともあるんでしょうけれど、現実的にはもう平成28年4月1日しかないというようなことで意見がまとまりました。一応、これは2校で話し合う事、あと二つのPTAで話し合っていくことが多々ありますので、現実的には平成28年4月1日の方が現状を知る意味でもいいというようなことも話し合われました。それと、言い方が適切ではないかもしれませんが、現在の6年生にとっては最後の運動会であるとか、最後の学校行事であるとか、そういうような意識がされずにもう1学期が終わってしまっている。また、2学期になって、もう来年から一緒になっちゃうんだよとなると、じゃあ、もうこれが最後の運動会だったのというような意識が出てきてしまうんじゃないかというようなことも考えられるかなと思われました。仮に、平成28年4月1日であれば、2学期に入って、話し合っていく機会もあるし、仮に5年生が、自分たちがこの学校の最後の6年生だというような意識で1年間、学校も児童も意識をもって学校行事等にも取り組めるのではないかなというようなことで考えております。ちょっとまとまりませんが、そういうことで、学校の位置、名称については、このとおりでいいかと思っております。あと再編時期については、平成28年4月1日が現実的ではないかなと思っております。

委員長 ありがとうございます。ほかの方お願いいたします。

委員 丸幼小PTAです。今、ここに資料ということで再編の時期、学校の位置、それと学校の名称ということで、基本的事項（案）が出されましたけども、一つ確認なんですけど、この丸山地区で統合というのはもう決定したことなんですかね。

委員 こういう誤解を生ずるんですよね。やっぱりね。私も前々回から事務局にはとっても疑問を感じているんですが、今日の議題は、まず統合するかしないかからの議論をしあう場所だと思って来たんですけども、何か早くに早くに案が出てしまうんです。そうすると、やっぱりこういうね、先ほど南小学校の委員からも話が出ましたように、これについて話し合っちゃっているんですね。とんでもない話で、委員の皆さんがこの統合をどう思うかというところから話さなくてもよろしいんですか。そこからだろうと思うんですが。それで案が出るのがちょっと早過ぎ。早くしちゃうと、やっぱりこんなふうだね、マインドコントロールみたいに、もうするんだろうみたいな気持ちになりがちなんです。ですので、一応一つ一つ決まった段階で、案といえばそれまでですけども、適切な案の出し方、時期を考えてほしいなと思うんですが。

委員 賛成。

委員長 今、委員から疑問の言葉が出たわけですね。統合をすることが決まっているのかということのようにおっしゃいましたが、これは事務局から説明をお願いします。

事務局 ただ今の御質問ですけども、統合するということは決まっております。この中のお話ということでございます。それと、案として示させていただきましたのは、いろいろ今までの協議の経過ですとか、アンケートの結果ですとかそういうものを総合

的に判断させていただいて、まだ平成27年4月というものが可能性としてあるのであれば、その辺は出ささせていただきたいということで出させていただきました。したがって、当然この会議、協議の中でどういう方向にもっていくかということで決定ではございませんので、御協議を続けていただきたいと思います。

委員　いいですか。私が、冒頭申し上げたのは、前回、やっぱり地域の方の意見が聴きたいとの意見があったので、したがって私が最初に報告をさせていただきました。委員長におかれましては、ほかにも7地域の代表が来ていますから、そういう所をきちんと意見を吸い上げて、和田地区の4名についてはちょっと意見がないということになるかと思いますが、ないかどうか分かりませんが聞いていただいて、それについてほかの委員がどうなのかという取り上げ方を是非してほしいと思います。

委員長　今、委員から議長を助けるような言葉をいただきました。どうぞ、皆さん方のお声をもう少し広いところからいただきたいと私も思っていますので御協力をお願いいたします。私はこう考えているんだということを、特に先ほどの教育委員会からの提案ですね。基本的合意事項の3項目を述べられましたので御意見をいただけませんか。

委員　うちの区でも役員会がありまして、その時にこういう段階的な統合という問題があるからということで、地区の役員に伺いましたところ、南幼小につきましては受け入れ側でありますので、特に皆さんの意見というのは、「段階的な統合をするなら統合してもいいだろう」というような意見がほとんどで、特に反対者はありませんでしたので報告します。

委員長　ありがとうございました。時期のことについては、平成27年度、28年度。早い方がいいだろうか、そういったことは特にありませんか。

委員　時期については、これは学校側の態勢がどういう態勢が早く取れるのか、それが一番の問題だと思いますので、27年、28年というこだわりは余りなかったです。

委員長　ありがとうございました。次の方どうぞ。

委員　まず、自分の地域の子供さんのいる家庭に聞いてみたんですけど、何回かこういう段階的という話を聞いているうちに、そのように流れはなっていくんじゃないかっていう、賛成も反対も言わないんですけど、その流れに乗っていくしかないんじゃないかという意見を聞きました。あと子供さんのいない人は、やっぱり賛成も反対もなく、そのように流れに乗っていくしかないんじゃないかという意見でした。

委員長　ありがとうございました。教育委員会の方としては先ほども申し上げたとおり、段階的統合は平成27年4月に統合という一つの線を示されたわけですね。それについて、先ほどの南幼小代表の意見では、平成28年4月からということならば考えていけるけれども、27年度はちょっと無理だろうというような意見が出ておりますね。

委員　度々すいませんが、一緒になるかどうかということをもまずはっきりさせたらどうですか。

委員長　そうですね。

委員　はい、地域の方々の意見を踏まえて。その次に時期とか、あるいは校名とか事務的

なこととか、そういう意見だったと思いますけど。先ほどの意見は。

委員長 今、委員から議事の進め方の御指導をいただきましたけれども、恐らく一緒になるということについて、どうかということでは前回の会議でも出ているわけですが、それらも一切含めてどうでしょうか。一緒になる必要があるのかどうか。

委員 ちょっとすいません。

委員長 一緒になるかどうかということについてのことですか。

委員 そういうことも含めての質問です。

委員長 質問ですか。はいどうぞ。

委員 小学校、特に義務教育ということで、こういう問題は、急に生まれて6歳、7歳で学校に入学するってわけじゃないので、いつ男の子が0人になるとか、こういうのが分かったのか、まして義務教育の問題でこういうのが発生すること自体が問題じゃないかと思えますけど。そこいら辺で、もし、いつ分かったのか分かったら教えてほしいし、またこんなになっちゃって急にあっちだこっちだなんていうから皆いろんな問題が発生してくるんであるし、不信感が出てもおかしくないとは思ってますけど、そこら辺が分かったら教えてほしいと思います。

委員長 御質問をいただきましたので事務局で答えていただけますか。

事務局 人数の問題につきまして、丸小学校4年生につきましては、当然幼稚園の段階から分かっておりました。来年度入園する学年につきましては、学校再編にあたりまして、以前、児童の推移表を示させていただいておりますので、その資料を作った段階である程度は見ております。ただ、転入ですとか転出そういったものもございますので、実際に来年度、男の子が6人、女の子が1人ということについては、今年の5月1日の時点で見込ではありますけど、はっきりしたと。それまでは、やはり転入・転出等の異動がございますので、はっきりした数字はなかなかつかめなかったところでございます。

委員長 よろしいですか。

委員 はい。

委員長 ありがとうございます。それでは丸小学校と南小学校の段階的統合は、するべきなのかといったらいいんでしょうかね。した方がいいのか、しない方がいいのか、必要感というんでしょうね。さっき委員からはそういったことを確認したいということだったのですが。そうですね。

委員 ちょっといいですか。私の理解をしているところで申し上げますと、前回の会議で、和田地区は段階的な統合については望まないという方向で皆さん了解し合ったんじゃないのかなと思います。それで丸山地区については、基本的には段階的な統合で進むのが望ましいんじゃないかという方向が出ていたんじゃないのかなと思います。だから今ここで、統合した方がいいのか、悪いのかを話し合う場ではないとは思いますが。だけど、さっきPTA会長がおっしゃられた、「決まったことなんですか」ということについては、正にそれを今、決定しているわけであって、けども、当事者である両

小学校のお話は、これまでは統合の方向でほぼ進んでいると私は理解をしていました。問題はいつ統合するのか、時期の問題だというふうに私は理解しているんですけども。それで、それから先になりますと私個人の意見になりますけども、先ほど南幼小の委員がおっしゃられた意見が大変分かりやすく、なるほどなと思いました。だから今、ここで検討することは、私としては時期の問題を検討すべきじゃないかなと思いますけどもいかがなんでしょうか。

委員長 今、委員が補説してくれましたけども、これは確か第17回だったかの会議の時に、それは一応この検討委員会としての方向性は皆さん理解されているわけですね。丸幼小、南幼小は統合の方向で考えていこう。和田地区の南三原幼小、和田幼小は特にこの全体の統合までの間の段階的統合は特に考えずに進もうということになったわけですから、委員、その辺は御理解をいただけますか。

委員 はい。では、その方向で話を進めていくということで。

委員長 そうだと思います。

委員 会議録を見ても、決定した旨はどこにも書いてありませんよね。統合するということで、決定した旨は。と思いますが。

委員長 「決定」ということは、多数決なんかの決定ではないですけども。

委員 「検討しましょう」という検討の中で、統合するかどうかという問題じゃないかと思うんですが、その辺の統一もとれていない中で何年と決めるのはちょっとおかしいと思います。

委員長 今、委員がおっしゃった「決定」ではないけれども、皆さん、丸山地区は段階的な統合を考えていこう、和田地区は段階的統合は特に考えないでいこう、だけでも検討委員会は両地区とも全部揃って検討委員として出席してくださいということで、それは皆さん了解していたんじゃないんですか。

委員 私は了解していなかったんですが、その統合についての検討をするというのは考えていましたよ。

委員長 そうですよ。

委員 だけれども、「検討をする」ですから、「段階的統合をするか、しないか」というところからの検討が始まるのかと思っていたんですが。もう既に統合すると決まっているんですか。

委員長 いや、だからそれが段階的統合は必要でないかなということで今、検討をしているわけですよ。

委員 そうですよ。

委員長 そうですよ。

委員 だから反対の意見を出してもいいわけですよ。

委員長 かまわないですよ。

委員 だってそれが何か、先ほどの委員からの話では、もう決まっている、ここで話すことではないような提案があったので、どうなのかなと思ったんですけど。

委員長 教育委員会の先ほどの本日扱っている議題の説明の中に、その辺は統合が求められているという立場に立っての提案で、その時の説明に、子供たちの数のバランスの問題であるとか、あるいは地域の方々の統合に関する賛成とか反対の比率などをベースにしたら70%くらい抑えているとか、そういったことでいくつかの条件で、丸地区の統合は検討していこうかという、そういった了解で進んで来ていたんじゃないんですかね。だから第18回の会議では、時期的には27年度に統合してみようかだとか、あるいは28年度に統合してみようかだとか意見が少しばらついてまとめ切れなかったから、今日の第19回会議で継続して審議をしてもらっているつもりですけどね。

委員 話をもう一回戻してみたらどうですかね。何のためにそういう話になったのか。段階的統合ということは素晴らしいと思います。段階的統合をしたいという父兄からの意見があったんじゃないんですかね。

教育長 市全体で再編を進めています。これは、子供の数が少なくなってきました、1学年10人以下だとかそういう状況になってきますと、複式学級になってくる可能性が出てくるということ、あとは今、話題になっていますけど、男女のバランスが極めて悪い場合が出てきます。そういうものを解消していくために再編というものを進めてきております。それで今まで、富山、富浦、白浜、千倉で再編をしてきたわけですけど、男女のバランスが悪い、あるいは忽戸小学校でいいますと、1学年2人とかそういうものがあったわけですけど、そういったことについては、統合しましょうということが決まってから1年から2年以内に新しい統合の学校になっているわけですね。ですから、男女のバランスが極めて悪いとか、あるいは複式になっている状況とか、そういうものが1年から2年の内に解消された。ただ今回の和田、丸山地区につきましては、4校一緒にして、男女のバランスが極めて悪い状態とか、1学年の子供の数が極めて少ないとか、そういったことを解消しましょうということで結論を出していたんですけど、重ねて申し上げるまでないですけど、新しい校舎が出来上がるまでに最低5年は掛かります。そうすると、一番この学校再編を南房総市で進めている元々の男女のバランスの悪さとか、1学年の子供の数が極めて少ないとか、そういうものの解消のために再編を進めているわけですけど、実際にそれが出来るのが、この地区では早くても5年後になってしまう。そうすると、そのままその問題を継続していった方がいいのかという問題意識、それともう一つは、既に保護者の方からも、ちょっと問題であるというような声も継続的に聞こえてきていますので、いかがでしょうかということ、それぞれの丸小学校、和田小学校の方に議論をお願いしたわけですね。それで先ほどのような結論で、和田小学校は5年後の4校統合まで現状でいきます。いろんな条件の悪いところがありますけどこれでいきますというような結論をいただいた。丸小学校につきましては、先ほどのアンケートに出ていましたような大半の方が出来るだけ早く段階的な統合をとということで話し合いの結果が出ていると思います。よろしいですか、このようなことで。

委員 ということは、教育長の方からこの話を出したという考え方でよろしいですか。

教育長 丸小学校の方からは、子供のバランスが悪いとか、そういったことについての問題は何度も伺っております。ただ私どもの方としては、4校の統合を協議しているので、その結論が出るまではちょっと待って下さいということでお願いしてありました。それで結論が3月に出ましたので、その後、丸小学校のPTAの方には、こういう「段階的な」ということも考えられますけどということもお話しました。

委員 丸小の、要するに保護者の人たちも統合でいいという話になっているんですね。

委員 はい。アンケートの採り方もどうだったかと思うんですけども、「このような案が出ていますけどもどうですか」ということで最初アンケートを採りました。それで1回目の時には、皆さんも御承知のとおり意見が少なかった。

委員 僕の考えるところでは、やっぱり当事者の人たちが、保護者の人たちが、一番声を上げて統合したいんだよということをアピールしていかないと、何かこの会議はどうすんだどうすんだであっちいたりこっちいたりしているように感じるんですね。どうでもいいよっていうふうに、聞こえてくるんですけども。その辺はどうなんですか。

委員 ちょっといいですか。また同じようなことを言うことになっちゃうかもしれませんけど、なぜこの話になっているかという、元々は教育委員会がこうだからこうしてくれと提案したわけではないですね、これは。当事者である丸小の方が切実な問題を抱えているということで相談をしたわけですよ、ここへ。それで南小もそれを受けて、いろいろ保護者の意見を聴いて、この検討委員会で、和田地区はどうなんだろうとか、丸山地区はどうなんだろうとか、さっき言ったように、それで持ち帰って保護者の皆さんの意見を聴いてきたんですね。そうしたら、和田地区の方たちは、段階的な統合はしませんよということで結論が出たんですね。けども丸山地区の両小学校は、できれば早いうちに進めたいというそういう希望というか、そういう意向が前回までの会議に示されていたという。私たちはそれに理解を示したわけですよ。そんなの我慢しろなんて言ったわけじゃないですね。やっぱりそれを尊重して進めていこうじゃないかということで、この検討会はきたわけですよ。だからね、さっきの決定したとかそういう問題ではなくて、それは最終的に決定するということは、ここにある、例えば具体的に何月何日のように、(1)、(2)、(3)と出ているんだけども、こういうものについて皆が同意して、いいでしょうといったら、それは決定ですよ。でも今は、検討している最中なんですよ。だから、普通に受け取ってもらえればいいと思うんですよ。自分の思ったことをおっしゃって結構ですから。

委員 検討じゃないでしょうよ。そんな言い方ないでしょう。

委員 はい。

教育長 委員、すいません。ちょっとその前にいいですか。今回、私どもが資料2で案というもので(1)、(2)、(3)を出しました。これは、今まで2回やってきまして、丸小のPTAがとかそんなふうになると、非常に丸小のPTAの方々にも負担が掛るなど。今までのそれぞれのPTAのアンケートとか、話し合いの結果、あるいはこの2回の会議の状況を見て、教育委員会として、段階的な統合をしていく方向でど

うだろうか。具体的には、(1)、(2)、(3)の案でどうだろうかということで、教育委員会の責任として提案させていただきました。ですから、教育委員会として平成27年4月1日で何が何でもいくぞということではなくて、先ほど南小の委員からもありましたけど、これでは早いということでしたら私どもそれはこの会議の決定に従って、これに飽くまでも拘るつもりはありませんし、これは会議の中身で(1)、(2)、(3)を決定していただければということで、今日、この資料2を事務局の案として提案いたしましたので、これは御理解をいただければと思います。委員、すいませんでした。

委員長 よろしいですか。

委員 はい、分かりました。

委員長 では、委員どうぞ。

委員 和田幼小です。先ほど、委員がおっしゃられたのは、前回の会議の中で、段階的な再編というのをまたやってしまうと、地域の方々への説明とかそういったものが成り立つのかどうかというような疑問を呈されたことですし、それに対して、あと、何としてでも段階的な再編をしなければいけないのかという質問が前回の会議の時にも出ましたよね。それに対して最終的に、教育長であるとか、教育委員会の方から、やはり男子だけのクラスがあるということは非常に問題で、例えばイベント的に交流を深めるので何とか解決することはできないのかといったような御質問があった時も、やはりイベント的には無理なので、常態的にずっと男女が一緒に過ごせる環境を作ってあげた方がいいんじゃないかというような、学校関係者の方々の御意見を受けた後に、じゃあどうしますかという結論が出る前に、じゃあそれを一回持ち帰って、次の会議の時ではっきりさせましょうよということをおっしゃられた締め括りだったので、まだはっきり決まっていないというふうに感じていらっしゃるんじゃないかと僕は理解しているんですけども。そういった意味では、やはり一度、「皆さん、丸幼小と南幼小は段階的再編をやっていく方向でよろしいですか」というお声を議長からいただければ、次の段階に進めるのではないかというふうには思うんですがいかがでしょうか。

委員長 ありがとうございます。今、委員からもそのようなお気持ちをいただきました。それでは、特に皆様方には最初の方で意見をもらった南小学校の会長さんの、南小学校における全体の会議の様子などを先ほど説明がありましたので、そういった御意見、あるいは丸小学校の方は、前回、前々回にも丸小学校の会長さんからはお話をいただいておりますので、皆さん方の耳の奥にはちゃんとどんな意見だったか残っていると思います。委員、丸小学校の御父兄の方々の意見というのは、前回発表していただいたように、約70%くらいの方が段階的統合に賛成だという御意見がまとまっているわけですね。

委員 そうですね。前回の時の資料に示したとおりに、返ってきた返事の7割の方がこの段階的に統合していくことに賛成であると、この方向を進めてくれという意見が多かったです。そのことについて、前回の時にもお話したと思うんですけども、南小に

移るかもしれない、あるいは南小の校名・校歌を使うことになるかもしれないということでお話をした上でのアンケート結果です。

委員長　　ちょっと私がこんなことを質問してもあれなんですけど、この統合の時期などは、もしある程度、PTAとしての立場で言い難い面があるかもしれませんが、もし許されるならばちょっと統合はいつ頃というようなことを。

委員　　時期というのは、ここに来年度ということで案として出されているんですけども、ただ、現在、父兄の方には時期というのはまだ出していません。前回、その前くらいに早くて来年という案が出てきたんですけども、その来年という時期に関しては父兄の方には伝えてありません。その上で、アンケートの中に「早期に」ということであつたんですけども、ただ、来月、奉仕作業がありまして、父兄が多く集まりますので、そこでもう一度、今日の会議の内容、今現在、来年という案も出てきているということを含めて報告をする予定でいます。ですので、ここに来年という案が出ていますけども、来年というのは一度白紙に戻していただいて、来年というよりは再来年に向けて話を進めていただければいいかなと。でもこれは個人的な意見で父兄の方に話は聞いていないので、総意として再来年と出ているわけじゃありませんけども、私の個人的な意見としては、再来年でいいのかなと考えております。

委員長　　何か、その辺の理由というか、個人的な意見を追求して申し訳ありませんが、どうなんでしょう。

委員　　前回、教育長からお話がありましたけども、当然、閉校することになると思うんですが、閉校するに当たって閉校行事というものがあります。それに関しては、必ずしも3月にやらなければいけないというわけではなくて、年度を過ぎて行っても構わないというお話があつたんですけども、それに関してはそういうことが出来るのであれば、それはいいのかなと。ただ、それ以外の先ほども南小の委員からお話がありましたとおり、子供たちがもう1学期が終わってしまったんで、1学期に行われた行事というものが、まだ来年度もあるという意識の中で行っていると思うんですよ。だからそれが、来年度もあると思って行事に参加するのと、もう今年で終わりなんだという意識で行事に参加するのでは、やっぱり子供たちの意気込みですとか、考え方が恐らく違うのかなと思うので、ですから私も南小の意見に個人的になんですけども賛同で、再来年の方向で進めたらいいのかなと考えております。

委員長　　ありがとうございました。

委員　　じゃあ進行で意見です。再度話しますけれども、やはり段階的統合をしていくかどうかという話と、時期とか校名とかを分けてですね、まず第一段階として、全体として段階的に統合をしていくんだと一回確認をしたらいかがですか。そうでないと、会長としても保護者に説明をする時に、段階的統合は決まっていなくても平成27年度なのか平成28年度なのかという話になっちゃうわけで、大勢としてそうなったからあとは時期とか校名とかまた考えていかないといけないよっという方向性とえらい違いだと思うんですよ。私の考えとしては、考えというか私の理解としては、丸小学

校と南小学校のアンケートから見て、保護者については、大勢としては段階的統合の推進ということで考えているというふうに受け止めました。ただその時に地域の方々の意見も聴きたいということでありましたから、今日、その報告をさせてもらったわけです。地域の方々も大勢として推進に問題はないというふうに私は思いますので、この場で、それを覆すような、このアンケートと今、地域の方々の意見を私、報告しましたけども、それを覆すような意見があったら是非出していただいて協議をして、まずは第一段階として平成27年度か28年度かはその後また喧々譁々の話をするとしても、取りあえずそれで進むかどうかってことを決めてあげた方が各学校でも進みやすいんじゃないかなとそういうふうに思いました。

委員長 はい、ありがとうございました。

委員 いいですか。保護者の人たちの意見を尊重するという事は、もっともな話で尊重はしたいと思います。ただ、それぞれの立場の人間がここに委員として出ているわけですから、それぞれの立場でやっぱり思いというものは保護者にも伝えて、その中で決定するのがより良いものができるのではないかなと思ってちょっと発言をさせていただきますけれども、アンケートの参考資料として、前回アンケート結果が出ましたよね。確かに賛成が32人多いですよね。ただ、南小学校の場合には「どちらでも良い」という言葉を使っているんですが、丸小学校の場合には「どちらともいえない」という言葉を使って13人いるんです。それを私なりに解釈をすると、もうとにかく子供の幸せを考えて考えぬいても分からないよというふうな答えが13人いるのかもしれない。それから、もう19人という数字があるんですが、ここは46人で終わっているんですが、総数は65ですよ。

委員 全家庭数は、はい。

委員 そうですね。65から46を引くと19人いるんです。約30%、その人たちの数字を全く消してしまっているんです。その3分2の人たちの中で、ごたごたと考えて賛成が一番いるからといって、それを保護者全体の共通した意向として考えていいのかどうかということをちょっと老婆心ながら思います。「どちらともいえない」という13人と、それからとにかく無回答、無回答でも無責任に無回答ではなくて、賛成の無責任よりももっともった考えた責任ある無回答だったのかもしれない。その辺の追跡調査もしてないとなれば、19+13はいくつ、32なんですよ。それに反対を足すと実は34になっちゃうんですよ。賛成より多いんです。この数字をどういうふうに読むかっていうこと。それとですね内訳のところですけども、この内訳は何を読めるんですか。何を読むための内訳なのか分からないんですけども、4年生の問題で、リスクを負っているものを解消するためには統合するしかないと思っていれば、4年生の10人、その保護者は全員が賛成すべきなのに4人ってなっているんですが、これは採り方の違いだと思うんですね。一番上の学年のところに保護者の意見を書くようにしたんですか。何かよく分からないんですけども、とにかく私は、見方としては、4年生が10人いる中で、4人しか賛成していなくて、あとの6人は何なのって

感じもしてしまうんですね。したがって、この内訳は何を読める内訳なのかなど不思議に思ったんですが、そんなことで、やっぱりアンケートってもう少ししっかり採るべきではないかなど。私も実は反対なんですけど、でも最終的には、在校生のいる保護者の皆さんと地域の代表者の意見でよろしいかと思うんです。私もそこに賛同したいと思っているんです。ただそのアンケートの採り方とかね、それから一人一人が何かメリット・デメリットをきちっとお話をして採りましたという発言もありましたけれども、今一度、いろんな考えを持っていた人がいるよという中でもう一度真剣に考えて答えを出してほしいなと思うんですけれども。事務局の方では、会議録を読むと遠慮しているんじゃないかと、地域に遠慮をしているんじゃないかというような発言も書かれておりましたが、もちろん遠慮は絶対に必要ないと思うんですが、ただ皆さんの答えでそれが大きく動くんだということをですね今一度認識していただいて、もう一度アンケートを採ってほしいという気もするんですが。それとですね、多い少ないではなくて、反対の方の5年生の保護者が書いている大きな問題があるんですよ。確かに反対は2名ですから、切られちゃうような数字かもしれないけれども、内容を採ると本当に私も考えます。丸小も南小の子供たちも本当にかわいくてしょうがないんですね。食育の場であるとか、それから交通安全教室の場であるとか、地域交流の場であるとか、子供たちといつも一緒に短い期間ですけどいるんですね。そうすると、とんでもない所で会うと、向こうから声を掛けてくれるんですね。さらには高学年になるとその時のお礼まで言ってくれるんですね。これは歴代の校長先生方の御指導のお陰って感謝しなければいけないんでしょうけれども、そういう子供たちの順調な成長がですね、丸小学校とっていた子供たちが南小学校という名前を使う。それから、南小学校の校歌を歌う。小さい子どもたちは何も考えず仲良くなれるかもしれないかもしれませんけれども、高学年の子供たちがどんなに心を動揺させるのかっていうことを考えた時に、そのリスクがね、解決するものはあるかもしれないけれども、ひん曲がった成長をしてしまったら元も子もないじゃないですかって、そんなふうと思うんですがどうなんでしょう。私、何言ったんでしょう。いずれにしてもですね、そのアンケートの結果はちょっと甘いんじゃないかなんかということをおもいました。

委員長 ありがとうございます。

委員 ただ賛成が何人、反対は何人だけで果たして決めていいものかどうかと思うんですよ。要は女の子のいるクラスに男の子が1人いるという話がありましたよね。その1人の男の子を救うために、段階的に一緒になったらいいんじゃないかと前に教育長はそういう話をしていましたよね。そうするとね、1人の男の子を救うために、アンケートの多数決で賛成か反対かだけでは採れないんじゃないかと思うんですよ。

委員 男の子の方が多いの。

委員 逆だとすれば、その1人の女の子を救うために、何か話し合うということもできるんじゃないですか。それは。人数ではないんじゃないかと僕は思いますけども。

委員長 ありがとうございます。2人の委員から、統計というかアンケートの結果は慎重

にというお話をいただきました。

教育長 いいですか。

委員長 どうぞ。

教育長 丸小学校のアンケートについては、数字だけではなくて、その後の意見、要望等がきちっと書いてあります。それを読むと、保護者がどういうことを真剣に悩んでいるかとか、そういうものが伝わってくると思います。また、これを踏まえて、先ほどの丸小PTAの話では、9月に入ってすぐに奉仕作業の後に保護者でまた話し合うということですので、段階的統合というとあれですけど、非常に子供の数が少なくなってくる。あるいは男女のバランスが悪いそういう状況について解消していくのか、しないでこのままいくのか、そういうことについてまた話し合っただけであれば、私どもとしては大変ありがたいと思っています。私どもの基本的な考え方は、この前、申し上げましたように、皆さん方に賛成していただけるなら、やはり男女のバランスの悪さとか、極めて少ない人数の解消というものは可能な限り早くやっていくべきだという考え方については変わっておりません。以上です。

委員長 ありがとうございます。どうでしょうか、皆さん。統合の方向で考えていっているのかどうかということへの疑問が皆さん方お互いにまだまとまっていないようですが。

委員 じゃあ、いいですか。

委員長 はい、何か。

委員 原点について話をしているいいですか。さっき委員が言ったように、原点とそれから(1)、(2)、(3)のことについて、その後に検討するという議事の進め方で今、やっているわけですよね。よろしいですか。

委員長 どうぞ。

委員 まず統合するかどうかということで、子供サイドから見た意見でちょっと言わせてもらいます。僕の経験としては、4名の男の子だけを卒業させた経験があります。女の子はいませんでした。それで、その時に、今、教育長が言っているように、女の子がいるか、いないかということより、その意見からはちょっと述べることはできません。というのは、いなかったから。子供自身を見ていますと、今だから僕が言いたいことは、少人数の学校はどうなのかという現状からちょっと話をしたいと思います。少人数学校の今の4人の子供、5、6年生、これは毎日、学校に来て学校運営の中心になりますから、子供たちが朝から晩まで本当に生き生きと、また頑張らなくては学校運営できません。例えば、掃除の時間においてもこれはさぼることなど絶対にできません。さぼろうとする子もいません。もう自分の割り当てられた範囲は、教室だとか廊下だとかいっぱいあります。また、休み時間でも低学年の子供と一緒に遊んだりするし、また行事や運動会などでも、30人に満たない子どもですから、それで盛り上がるということで、地域ぐるみで盛り上がります。そういう面での良さはすごくあります。また、学習の面でも、これはもう集団学習はできません。もう4人ですか

ら個別学習です。そういう面でのいい点はあります。でも、今、教育長が言っているように、大きな問題は、少人数学級の点での子供同士の切磋琢磨、これは南三原小学校、前の教育長が掲げた時も、少人数学級より集団で学ぶという力を子供は身に付けなくてはいけないということで、北三原小学校と南三原小学校は統合したわけです。そういう面での力は劣っています。ですから、隣の学校の館山小学校の大きな学校で、昼から一か月、理科の学習を中心に授業させました。子供たちは、それですごくいい経験をしたと。これで中学に行って友達もできそうだし、非常にいい経験をしたというようなことで、子供たちは学校に帰って来て大きな大きな財産を築いたわけです。そういう面で、子供たちにとってはですね集団で学ぶというか、6年間同じ子供だどお互いに知れ渡っちゃってるんです。お互いに毎日、朝から晩まで見てますよね。どんな考えで、どんなことをするかというの、子供同士でもなれ合いになってしまう。ですから、子供に土曜日、日曜日は仲間とどんなことをして遊んでいるかという話をしたことがあります。その時、極力、今の子供たちと遊ばないで、いろいろなサークルというか野球部だとかサッカーだとか、剣道、そういったほかの学校の子供たちと遊ぶようにしているというような声が返ってきたわけです。ですから、親御さんにすれば、学校でのきめ細かな授業に非常に感謝しているかもしれない。ですけど、子供たちの社会性だとか、切磋琢磨、人間的な成長に関しては、親御さんたちがえらく心配しているのは十分分かるんです。それでいろんなサークルに入れたり、またそういう所で学んで人間性を大きく育てようという意識で育てていくんです。そういう考えがあって、子供たちを育てようというようなのが小規模学校なんです。ですけど、もう一つ小規模学校の一番のあれは地域です。未だかつて、まだその学校は地域で小規模学校は統合されておられません。まだ小規模学校でいます。というのは、地域の学校だという意識が根強くまだまだ残っております。おらが地域の学校だと、だから地域の人が支えております。

委員長 委員、発言中すいませんが、話を絞ってください。

委員 分かりました。もう終わりにしますからちょっと待ってください。ですから、今の討議を結論的にいいますと、統合については、子供たちから考えた場合は賛成です。ただ地域の学校であるということです。子供の立場で考えるとえらく賛成ということで、原点で今、話しをしました。長くなって申し訳ない。

委員長 ありがとうございます。今、委員のお話を長くいただきましたけども、この件で皆さん方のお考えを伺いたいと思います。今まで、今日だけではなくて、第17回、18回、今日の会議を通じてでも結構でございますが、丸小学校、南小学校の二つの学校を統合する方向でいいかどうか、分かり切ったようなことかもしれませんが、でも改めてここはですね確認をしておいた方がいいかなという気がいたしますので、皆様方の御意見を、どういうふうに御意見がまとまるか伺いたいと思っております。統合する方向でいいというふうに考えている方と、あるいは統合する方向で考えていくのは無理であるというふうに考える方と、あるいはいらっしゃるかもしれません。そ

こで、そのどちらかを伺いたいと思います。それじゃあ、手を挙げていただくという方法でよろしゅうございましょうか。

委員 ちょっと異議があります。手を挙げるというのは、前回の4校統合の時に止めようという話だったと思います。全員からそれについての意見を聴いて、その意見を集約しようというのが伝統のようになっていると思いますから、私はその方が合理的かと思えます。

委員長 大変申し訳ございません。私が失言をいたしましたのでお許してください。この統合する方向でいいのか、あるいは統合するのは無理かということでございますが、それについての御意見をいただきたいなと思います。27年とか28年とか時期は別として。では、確認をしたいと思います。

委員 丸山地区の区長です。今まで皆さんからいろいろ意見が出ていますけど、私の方は、南小学校のエリアになります。一番大変な所はやっぱり丸地区の方々じゃないかと思えますけども。今まで、ここにこれだけの会議の回数を重ねながら、裏データもかなりここに付いています。皆さんが、毎回、皆さんの意見を細かくテープを録ったやつをここへ起こしているこの作業も大変じゃないかと思えます。これを見た限りでは、こちらとしては迎え入れる側になるかもしれませんけども、いろんなデータから見れば、丸地区の方々には統合を考えている方が多いんじゃないかというふうに私は思いますので、区長としては、統合に賛成いたします。

委員長 ありがとうございます。どうでしょうか。この統合を考えていくことは、ちょっと難点があるなというお考えの方いらっしゃいませんか。

委員 前日も端から全員言っていたんで、言いづらいとか、あるいは自分の意見はちょっとここでは申し上げられないということも含めて話してもらったらよろしいんじゃないですか。

委員長 そういうのも一つの方法ですね。

委員 その方がいいと思うよ。

委員 ちょっと、その前にいいですか。丸幼小です。初めてですけども、先ほど、丸小側から統合してくれという意見が出てたというのは、事実なんですか。私、去年、丸小のPTA役員をやっていましたけども。

委員 去年、丸小でPTA役員をやっていたのですけれども、地区説明会の時に、保護者の方から直接、それはやってくださいということは、皆さんの前で正式に出ています。

委員 いつ頃の話なんですか。

委員 それは、地区説明会っていつでしたっけ。

事務局 3月23日です。

教育長 ああ、よろしいですか。統合してくださいというよりも、先ほど、極めて少ない人数で、男女のバランスも極めて悪いのでこれを何とかしてくださいという声は継続的に聞いております。

委員 それは、既に前からということですか。

教育長 そうです。前からです。

委員 それは丸小側には伝えていなかったということですか。私どもPTAとか、全体には伝えてこなかったということですか。

教育長 中の問題ですか。

委員 そうですね。そちらが伺っている話を小学校側とかPTA側に、今、こういう話があるよと。

委員 すいません。そういう話がありまして、私がもう辞めるぎりぎりの時に教育委員会の方からそういう話ということで、私の任期も終わるということで、会長の方にその件は保護者から出たということと、前からのそういう意見だということ、集約をしてくださいということでまとめました。ちょっと私の説明不足でした。すいません。

委員長 よろしいですか。

委員 はい。

委員長 できれば、統合がいいのか、統合が無理なのかということについて皆さん方のお考えをおっしゃっていただきたいのですがどうでしょうか。御出席の方に一人ずつそこら辺、賛成かどうか伺ってよろしいですか。

 (異議等なし)

 それではお願いします。

委員 南幼小です。先ほども、冒頭で最初に意見を述べちゃいましたけども、一応アンケートを採った結果、あと、その前に男女のバランスだとか、複式学級等の問題があるということでアンケートを採ったんですが、やはり保護者の意見としては、統合については検討を前向きにということで「賛成」ということでお願いします。

委員 南三原幼小です。和田地区、南三原地区は基本的には段階的な統合はやらないという、前々回からの話しだったんですが、今、話を聞いていて、生徒の数が少ないということもありますので、一番のことは子供のことを考えてだと思っるので、その中で南幼小、丸幼小が何度もアンケートを採っていただいた中で賛成の意見の方が多かったということが、それがやはり保護者の声になるのかなと思われま。先ほど委員がいろいろおっしゃっていたんですが、それに対して、また南幼小、丸幼小でアンケートを採り直すようなことをやってしまうと時間も掛かるし、多分、採ったとしても、私の考えですけど同じような回答が返ってくるんじゃないのかなと、PTA会長として、学校として、多分そんなに浅はかには聞いていないと思うので、もう一回採るのであれば採っていただいても構わないんですけど、ただそれを採ったことに対してまた段々段々会議が遅れていってしまうことが懸念されるので、丸幼小が必要があるというのであれば、その2校の統合についてはいいとは思っています。

委員 丸幼小です。今までずっと話をしてきたとおり、皆さんにも出させていただいたアンケートの結果を踏まえてですね、段階的に統合していただきたい。あるいはそれに向けて話を進めていただきたいという意見が多かったなので、私はその意見を尊重して、その方向で進めていただきたいと考えています。

委員 丸幼小です。私は今日初めて来て、今までこの中の議事録とか読んでたんですけども、先ほど、そちらの地域の方が言ったとおり、統合ありきで話をしているのか、それともほかの意見があって話をしているのか、さっぱり分からない状態がここに書いてありましたので、ここまで言ってくれたのは助かりましたけど、今日、この場でどちらにしたいのか、それをはっきりさせたいということを言いたかったと。その中の意見として、地区の方の意見を聞くと、子供を持つ親の立場、地域の方も今、現状を見たら集団行動をさせて、大人になってもいい成長をさせたいと、そういう意見もいっぱい出ていますので、私も段階的統合の方は賛成です。ただ、それをやるに当たっては、いろいろな作業がありますけども、4校が統合するまでに、時間は決まっていますので、あとは丸、南の方で速やかに協議をさせていただいていろいろ決めさせていただければ。あとPTAの方には説明をさせていただきたいんですよ。今、ここでこういうふうに決まったからこうやるよと勝手にじゃなくて、反対の意見もありましたので、その人たちにもこういう理由で今後こうしていった方がいいからと納得してもらおう方向で説明をさせていただいて、今年度中はそれを話し合っ、来年準備をしてという方がいいんじゃないかなと思われま。

委員 和田幼小です。いろいろな意見を聞いていたんですけども、地域住民の人の意見とPTAの会員の意見を聞いていて、男女のバランスが悪いというのもあるんですけど、それに対して何か学校の行事とかで一緒にできないかと出たんですけど、私もそれで何かできないのかなと思ったんですけども、それができないようであれば統合というかたちになってしまうのは、仕方がないのかもしれないのかなとちょっと思いました。

委員 南幼小PTAです。南小のアンケートの結果を見れば、統合しても良いよというPTAが多いので、そうなのかなとは思いますが。ただ、丸小のアンケートの方を見ると、確かに先ほど委員が言われたとおり、回収率が77%ということで、そこら辺の意見がはっきりとしたものになった場合に、そちらの方の意見が反対だよという意見の場合には賛成の方が少なくなってしまう可能性もあるのかなとは感じています。

委員 南三原幼小です。賛成か反対かといわれると、どちらともいえないんですけど、それは、南幼小のアンケートを見て、疑問というか、同じ意見だなと思うのは、「1クラス35名になると、子供たちが付いて行けるかが心配。補助の先生が付いてくれれば安心だが、小学校では基礎を身に付けたいので、先生の目が届く人数が良い」というのが気になっていて、今、自分の子供が1年生にいますけど、字を書くのもちょっと遅いし、それを今、1年生の先生がすごい良く見てくれていて、15人の中でも頑張っ、一生懸命付いて行っている状態なので、人数が多くなって自分の子供が付いて行けるか心配というお母さんの意見はやっぱちょっと気にはなるので、人数がどれくらいになるのかなというのが気になっていて、賛成か反対かというのはちょっといえません。以上です。

委員長 「どちらともいえません」ということですね。

- 委員 そうです。
- 委員長 分かりました。はい、では次の方。
- 委員 丸幼小です。段階的統合については、率直に是非進めていただきたい。賛成ということで、簡単に言えばそうなんですけども。あの、少人数だから、正直、先生の目が届くかというところでもないというのは、実際、自分の子供を学校に行かせて、こんなこと言ったら学校側に対しての批判になってしまうかもしれませんけど。
- 委員長 基本的には賛成ということよろしいですか。
- 委員 賛成なんですけど、だから小規模が良いというわけではないと、是非大勢の所で。
- 委員長 はい、分かりました。じゃあ次の方どうぞ。
- 委員 丸幼小です。私も賛成です。少人数で男の子だけというクラスが新しくできてしまうところもあるというのが現状なので、大人数で男子、女子が一緒のクラスで学ばせてあげた方がいいのかなと思います。
- 委員 和田幼小です。男子しかいないクラスの丸幼小の4年生を救済するという方法として、その4年生たちだけを越境させて南幼小に行かせるということが不可能なのだったならば、段階的統合をするしかないと思います。
- 委員 和田幼小です。生徒が少ないということ、それから丸幼小の方で賛成であるということ、地区の方でも問題がないという意識であれば、段階的な統合には賛成で進めてよろしいと思います。
- 委員 先ほど言ったとおり、私どもの方は南小が地元にありますので、迎える側です。私も団塊の世代で生まれた人間なんで、かなり人数の多い中で育ってきました。私の時も丸中学校との合併というのがありまして、私たちの1年上の人たちはいろいろ大変なことがあったかもしれないですけども。嶺南中に今、私の孫がいます。聞くところに寄りますと、和田中との合併によってですね、かなりレベルが上がってきているというふうに聞きました。体育にしろ何にしろ、やはりね、さっきどなたかが言っていましたけど、やっぱり人数が多い中で、集団生活の中で切磋琢磨しないと、子供たちは育っていきません。小学校、中学校、高校とですね、大勢の中で切磋琢磨した方が私は子供たちの将来の教育には必要じゃないかと思っておりますので、私は、統合をまず段階的統合を、先ほども申し上げましたように賛成をいたします。
- 委員 これまでのいろんな方々の意見も踏まえて、私は賛成です。
- 委員 この場に及んでというね、こういう問題提起の仕方っていうのは、私は教育委員会の方も反省してほしいと思います。やっぱり過疎化の問題いろいろあると思うんですけど、もう少し、このPTAの方を責めるような、こういうやり方については、やり方ですよ、私は反対しますが、統合については致し方ないのかなと思います。
- 委員 私は統合については反対です。子供がかわいそうでいけません。統合すると子供がいじけちゃうようなかたちになると思います。要は最初から、1年目からの統合はいいですけど、途中での統合はね、余りよくないのかなと。
- 委員 私は賛成です。やっぱり子供はいずれ大人になって大きな人の中に入って行くわけ

ですから、なるべく早い内にその団体に慣れる、人間関係形成とかそういうものを含めてですね、やはり慣れるということは必要だと思うんで、そういう意味で段階的な統合に賛成です。

委員 南三原地区です。どちらかというと反対です。統合そのものは、聞いていると必要かなと思いますけども、和田と丸山と力を合わせて4校一緒になるという結論を採ったので、できれば、こっちが段階的統合をするなら、和田の方も一緒になって二つで、和田の段階的統合をやって統合ならいいけども、何か足並みが揃わないような統合は、何かしっくりきません。

委員 南小学校です。何ともいえないんですが、個人的な考えは、統合は1回がいいなというふうに思っています。子供たちの今の学校の中を見ても、うちの学校ですら集団になかなか馴染めない個別な支援が必要な子がいて、それが6年間の間に2回もある子もいるということを考えると、そういうのは1回でもいいのかなというふうに思っています。ただ、丸小学校の現状とか幼稚園のことを考えると致し方ないのかなというふうに思っています。あと、この場で言っているかどうか分からないんですけど、小学校の校舎については仕様があるんですけど、幼稚園の園舎について、要するに保育室の問題なんですけど、幼稚園の人数が31人になると、もし同じ学年で2クラスになるとしたら、今、南幼稚園の保育室は2部屋しかないんで、そういうことについても、今後、段階的統合が決まったら、保育室の問題も、小学校については、教室が今の1クラスなので足りるんですけど、幼稚園については今後決まった段階で検討していただければと思っています。

委員 南三原小学校です。前回の会議の終わりに、私は、もう段階的な統合は仕方がないというふうに思ってきました。そして、今日、丸のPTAの方とか、丸山地区の丸小学校区の地区の方々こういう話があったということを知って、やはり段階的統合をしていくのが、子供たちにとってはいいのかなというふうにはっきりとしました。

委員 正に統合1年目の嶺南中学校です。現在ですね、職員も生徒も一つになって、生徒にとっても、保護者の皆さんにとっても、地域の方にとっても、嶺南中学校ができて良かったと思えるような学校作りを一丸となってやっているところです。そういう立場がある一方、この会議に6月3日から参加しておりますが、その会議の中で、毎回の会議の時に丸小4年生の学年を中心とした方々の思いを受けて、段階的統合を検討しなければならないということが毎回出てきています。ただ、その意見が出ると、反作用のように「決まったことなのか」、「それありきなのか」というのが出て、毎回毎回、今日まで来ているわけですが、これはやっぱり、一つの学校を閉めていくということについての、地域の宝である学校のことを考えてのことだと思います。ただ、そういうような非常に揺れている議論をしながらも、毎回、結局もう段階的に統合をせざるを得ないという、そういう機運が高まっているのは感じておりますので、そういう方向については、もう選択できないところまで来てしまっているのではないかなということは今、感じております。

委員 私は、当初はですね、個人的な意見としては5年後の4校統合が一番いいんじゃないかと考えておりましたが、会議に参加する中で、保護者の方が生徒数の減少とか、男女間の均衡のバランスの悪さ、そういうものがあるということで、段階的統合を考えていきたいということで、そういう中で、私もそういう事情があるなら仕方がないということで段階的には賛成です。あと一つ今後ですね、いろいろ私も会議に参加する中で事務局の方をお願いなんですけども、今日、会議の通知をいただきまして、内容を見ますと、「丸小と南小学校の段階的な統合の検討について」という議事が載っていますね。議事ということは、この内容について議事をするということですけども、また今日、会議の中で議論が元に戻るような、そういった議論になっておりますので、今後は、最後に会議の決定事項を皆さんに確認していただきたいと思います。それでないと、また繰り返し繰り返しで何回も同じような会議をしないといけませんので、ひとつそのことはお願いしておきたいと思います。

委員 小さい地区ですけど、一人も反対と言う人がいないので、やっぱり賛成でいいと思います。

委員 4年生を救うということで段階的な統合をとということですけども、もう4年間、彼らは過ぎて来たわけですよ。それで私、いつも思っているのは、何で今さらという言葉が一番先に出てくるんです。それも、4校を一つに決めたその後に、人数が少ないからということでこの話が出てくる。何かこの辺がちょっと順序が逆ではないかなというふうに思ってます。話を聞いて、多いに越したことはないと思うんですけども、この話の中で、迎え入れるとか、南小の校歌を歌わせるとか、そういうようなことが出てきましたけれども、私みたいに気の弱い子は、統合後、人数が少ない方が南小に行きます。それで1回統合をやります。また4校が一つになります。2回も経験するのは本当に子供にとって酷だなと。本当に気の弱い子は今はいないと思いますけども、ちょっとそういう子がいたら、これから指導していくには非常に大変な時期になるなというふうに思います。ということで、私は、一番いいのは4校一斉の統合が一番いいと理想ですけど考えております。

委員 私は先ほど言いましたので、結構です。

委員長 先ほど、賛成でしたね。

委員 私も先ほど言ったんですが、念を押しておきたいのは、和田中と丸山中が一緒になった嶺南中学になったその条件では全くないということ。それから、4校が1校になるという条件とも全く違うということで私は反対なんです。先ほども、ちょっと私の、中学年、高学年に対してどうなのか、子供たちの成長に屈折がないのかどうかという疑問に対して、実は私、小学校や中学校や高校の校長先生までおやりになって、教育者としてはプロのプロである教育長から答えをもらっていないんですね。いやそれは絶対大丈夫だよという答えがあれば私は賛成できるんですが、そういった答えが出ていない中では、まだまだ不安で不安で子供がかわいくてかわいくてかわいそうでかわいそうで丸小学校の丸っ子たちがかわいそうで反対です。

委員 今日初めての参加ですが、資料を読ませていただいたり、今、皆さんの意見を聞いたりしての判断ですが、実は私は和田中学の合併の第1回の卒業生なんです。それでただ、その時は卒業式だけが、名前は第1回卒業生なんですけど、卒業式だけを一緒に集まってやったんですが、新しいことで新しい会場でどきどきしながらその卒業式に向かったのだけは今でも覚えているんです。それで、今、お話を聞いて、丸幼小のPTAの方、保護者の方が段階的を強く希望するんであれば私は賛成したいと思います。

委員 丸小学校です。保護者の方、地域の方、子供も望んでいるようですので、統合した方がいいと思います。以上です。

委員 和田小学校です。段階的な統合に賛成いたします。やはり子供の成長とかそういうことを考えますと、現状は非常に教育的にまずいと思いますので段階的統合に賛成いたします。ただですね、和田小のPTAの会合があった時に、北三原小の統合があって、それから中学でまた統合があった父兄から、やはり子供の負担は大きかったと聞きましたので、その辺ですね、例えば一旦統合して、小学校でまた4つが一緒になる時の統合ということで、6年間で2回の統合という子供が出て来てしまうと思います。そういう子供たちに配慮しながらやっていけばいいんじゃないのかなと考えます。

委員 嶺南中PTAです。やはり男女のバランスなどを考えると、子供には少し負担になるかなと思うんですが、段階的統合でよろしいと思います。

委員 嶺南中PTAです。私は長男が北三原小学校と南三原小学校の統合の時の5年生でした。長女が3年生です。それで、そこで一度経験して、嶺南中でも長女が3年生になる時に統合を経験している父兄の立場として話させていただくと、1日も早い統合を望みます。それは、実際、私も子供のことを思うと非常に不安でしたが、教育委員会の方とか、先生方、非常に良く思った以上にやってくれまして、その当時から何度も統合を何か所も経験なされていると思いますので、今回、統合となっても教育委員会の方と先生方が大丈夫だよということを言っていれば、逆にもう父兄の方のことを考えると、子供のことも考えて、平成27年4月1日、そこでいけるということをお願いできれば、そこでお願いされた方が、私の経験上、本当子供が切磋琢磨、それが一番だと思います。私の長男が5人しかいませんでした。男の子が3人、女の子が2人で。それで勉強するにも、マラソン大会にしても、もう一位が常に決まっている状態で、いくら頑張ってもこの子には勝てない、あの子には勝てない、この子には勝てる。そんな状態でいましたので、それで統合してから、本当に同じレベルの子が揃った時のことを考えると、本当に嬉しそうに勉強とか競技をやっていたことを思い浮かべると、本当にいけるのであれば、私個人的には、本当に先生方とか教育委員会の人には負担が本当に大きくなることは分かるんですけども、1日も早い統合を望みます。

委員 嶺南中PTAです。南小と丸小のアンケートの結果と区長の意見等を聞きますと、合併が正しいと思います。

委員 統合に南小と丸小の父兄に御理解をいただけるようであれば、1日でも早い統合に賛成します。

委員 和田地区の委員です、私は段階的な統合には賛成です。先ほど委員が団塊の世代という話を言われましたけれども、私も団塊の世代で、小・中・高は、小中の時は45人の3クラスの大人数でした。実際、本当は少人数で授業をした方が楽しいんじゃないかなという気持ちはあるんですけども、そういう授業も非常におもしろいんじゃないのかなと興味もあるんですけども、段階的に統合は賛成です。

委員 結論的に言えば、南小それから丸小が了解されていることと私は理解しているんで、段階的統合には賛成したい。それで、先ほど、委員がいろいろ詳しくまた、実体験に基づいた話をしてくれましたので、大変理解できました。だからその上からでもよろしいんじゃないかなと思いました。あと、委員の御心配ですよね、それもなるほどなと思いました。それで、やはり統合を進めるに当たってはね、その嶺南中の例が出ていますけども、あれにはかなりの準備がされているんですよ。だから、今現在、うまくいっていると思うんですよ。そのためには、やはり十分な子供たちの心のケアをしながら準備をして統合をするというようなことでいってほしいと思います。

委員長 ありがとうございます。検討委員の皆様方に大変御協力をいただきまして、皆さん、お聞きおよびのとおりでございます。慎重に考えないといけないなという方の御意見も大変貴重ではないかなと思いますが、慎重にしていこう、どちらともいえないという方、今のところでは考えてみても賛成はできないというお考えの方もいらっしゃると思いますが、お聞きおよびのとおり、委員のかなりの方が段階的な統合には一応御理解をいただいたというふうに結論付けられるものと思います。その方向でよろしゅうございましょうか。

委員（複数）はい。

委員長 ありがとうございます。それでは、そういったことで、当事者の丸幼小、南幼小、の皆さんのお考え方も見えてきたわけですが、こうなりますと、ここで何か皆さん方のお声を聞いたところで、一言、私、意見を述べたいなという方いらっしゃいますか。何かあれば出していただきたいと思います。よろしいですか。

（特に意見等なし）

それでは、委員のそれぞれの考えを伺った結果でございますので、統合に同意するという委員が多かったということで結論付けたいと思います。ありがとうございました。それであと、そうなりますと、教育委員会が初めの段階で提案された「小学校再編に係る基本的合意事項」という中で、特に「(1)再編時期 平成27年4月1日とする」これは飽くまでも案でございます、これで決定したわけでは決してないということ、さっき教育委員会事務局の方からも述べられております。この辺は、時期に関しての意見は、今日の会議の初めの段階で、両PTA会長から伺ったとおりでございます。さて、その時期はということになるわけですが、1年の差がありますから、いろんな準備や何かに大きく関わってくる項目だと思います。そこで、大分時間が過ぎて

いますけども、もし、皆さん方の意見の方向性が見えたら。

委員　いいですか、PTAの方々が来年じゃ早過ぎるから28年がいいって言うてましたからそれでどうですかね。

委員長　はい、確かにおっしゃるとおりで、こちら側の意見は皆さんもお聞きになったとおりにありますが、それについて、原案を出された教育委員会の考えもあるし、28年度からという要望といいますか、希望といいますか、そういったことをおっしゃった立場のPTAや、南小学校、丸小学校の方々の考えもあると思いますけどどうでしょうか。時期的な問題では、どのように考えていったらいいか。

委員　PTAが28年度がいいって言うてんだから28年でどうですか。

委員長　もう、こちらの方の意見は分かっているわけでしょ。ですから、委員の方々が、こちらの方の考えを受け止めて、どういうふうに考えていくかということをやはり意見をいただいた方がよろしいんじゃないでしょうか。広く委員の意見が。

委員　PTAの2人は、来年じゃ早過ぎるから、再来年の28年度からしたいって言うてるんだからそれでどうですかね。

委員長　分かりました。それは委員の御意見ですね。

委員　丸幼小です。その時期に関しては、一回持ち帰らせていただきたいなど。先ほども言ったとおり、28年と先ほど述べたのも、飽くまでも私の個人的な意見ですので、総意としては採れないので、ですので、先ほどもお話したとおり、来月、臨時で集会を開きたいと考えておりますので、そこで話を聴きたいと思います。ですので、時期に関しては持ち帰らせていただきたいと思います。

委員長　はい。南幼小の方は決まっていますか。

委員　南幼小ですが、検討委員だけで取りあえずこういう案が出るだろうと思って話し合ったんですが、南幼小の総意というわけではないですが、ちょっとまた持ち帰って少し検討をしたいと思います。

委員長　それでは、皆さん方全員から一言ずつおっしゃっていただき、段階的統合は、今後協議していくとなったわけですが、その時期につきましては、持ち帰って検討していくというような話もいただきましたので、この検討委員会としては、それらを期待することにいたしまして。

委員　ちょっと一つ、老婆心ながらよろしいですか。時期の問題に関してですが、今、お話があったように持ち帰ってまたいろいろ聴いてということになりましたよね。そうするとさらに次の会議が遅れることになりますよね。それでも、27年なんていう話になったら、先ほど言ったように、十分な準備をして、子供たちの心のケアをしながらということに関していえば、大変不安を感じますよね。これは私個人の意見です。ですから、そういう点も考えながらできるだけ早く出した方がよろしいんじゃないかなと思います。

委員長　それでは、今日は、この件につきましては、それぞれまた持ち帰って検討していただくということもありましたので、今日はこれ以上の審議は無理かと思っておりますので、

統合の時期についての協議は次回に延ばすほかないと思います。よろしゅうございましょうか。

(特に異議等なし)

それでは、次回の会議で統合の時期などを協議していくようお願いしたいと思いません。そういうことで今日の会議はそこまでの結論でよろしゅうございましょうか。

(特に異議等なし)

次回にそれを検討するというごことをお願いします。よろしゅうございませうか。

委員 次回は統合時期の協議ということになるんでしょうけど、この統合については、PTAと学校と教育委員会、ここできちっと方向性を決めていただかないと、ここへ持って来てあだこうだとやっていると、また堂々巡りとなるかと思ひますので、この三者で早々に時間を取っていただいて、きちっと具体的な統合時期をこの前で言うていただくような方法がいいんじゃないかと思ひますけど。時期についてまたいろんな意見が出て、PTAとかから出た時期が、今の進め方でやってまた覆ってしまつて、また決まらないという話になると思ひますから、できれば、やはり統合に向かつて協議をするんですから、統合に向かつて一番汗をかいていただくところは、PTA会長と学校と教育委員会なんですよね。私もはそれに対して、その意見がいいかどうかという立場にある人間ですから、その辺できちっと時間を取っていただいて、ある程度煮詰めていただく、その煮詰めたことをここへ持って来ていただいて、全員の中でまた協議をするということではいかがですか。

委員 賛成です。

(反対の声なし)

委員長 そういうことでよろしいですか。

教育長 はい。

委員長 では、ありがとうございます。

委員 よろしくお願ひします。

委員長 それでは、第1号議案の検討につきましては、以上で終了させていただきます、次に議事の(2)に入りたいと思ひます。(2)は次回の会議の日程を議題といたしません。事務局案がありましたらお願ひいたします。

事務局 次回の会議日程につきましては、ただ今御提案がありました、関係PTA、学校、教育委員会というお話もございました。これを踏まえまして、方向性を定めまして、それによって会議の日程等には変更があるのかなと思ひております。それと、物理的に平成27年度ということが残つているのであれば、概ねですけれども、9月中旬くらいかなというのがあったんですけれども、これは協議によってというかたちで御了解をいただければと思ひます。したがひまして、その協議の進捗状況によって会議につきましては御案内をさせていただきますとこのようなかたちを考へております。よろしくお願ひいたします。

委員長 今回の事務局のお話のように、いろいろ検討して日時を決めるということではよろしい

ですね。次回は、今日ここでは日時などは決めませんので、後で皆様方にお知らせできるようにいたします。ほかに何かございませんか。

(質疑等なし)

それでは、以上で議事の方は終了いたしましたので皆さん御協力ありがとうございました。それでは、その他の方をお願いします。

事務局 特に私どもございません。その他として、何か皆様からございますか。

委員 あの、ごめんなさい、皆さん帰るのを急いでいるのに。4校を1校にするということで具申書を出してあって、とにかく1年でも半年でも早くしてほしいという思いを持っている私なんです、全く前日も、進捗状況についての報告がなされていないんですが、些細なことでもいいので、何か事項が分かれば皆さんに報告していただければと思うんですが。

事務局 事務的な話になりますけれども、ただ今、用地等につきましては、意見をいただきました嶺南中学校の隣接地ということで、そちらを目標に土地の測量ですとか、あるいはこれから取得ですとか、調査そういったものの予算等を議会の方をお願いいたしまして今後進めていくと。それからその後に、設計とかですね、そういった段を踏んでいきたいと考えております。また、これは逐一ですね、決まったというか、議会の結果等が出た時に御報告をさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。よろしいでしょうか。

委員 はい。

事務局 ほかにございますか。

(特に質疑等なし)

それでは、大変長時間に渡りまして慎重な御審議をいただきましてありがとうございました。

以上で第19回合同会議を終了いたします。ありがとうございました。

(閉会)